

FMC

食害させない。
産卵させない。

大事な樹を傷めるゴマダラカミキリに、

2023年8月23日
かんきつの
ミカンガタマムシに
適用拡大!

ゴマダラカミキリの食害、即効ストップ・徹底阻止で、
樹の健全性アップ!



ゴマダラカミキリ

日産

かんきつ・果樹・茶用殺虫剤

イクシレル® SE

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT

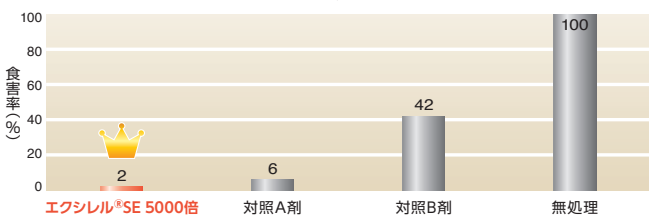
卓効成分シアントラニプロール (通称:サイアジピル®)
ならではの優れた即効性、長期残効、浸透性、耐雨性

ミツバチ、土着天敵、魚類への
高い安全性

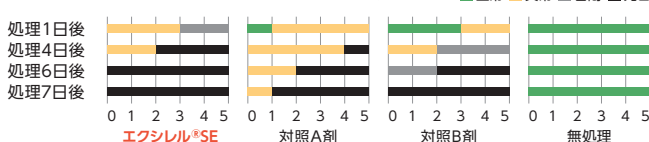


食害を即効ストップ

●ゴマダラカミキリに対する効果(食害率)



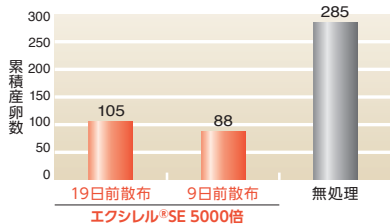
●ゴマダラカミキリに対する効果(効果発現速度)



2021年 丸和バイオケミカル株式会社 阿見開発センター
【試験概要】◎対象害虫:ゴマダラカミキリ成虫(2021年6月22日に愛媛県松山市内のかんきつ樹に寄生する成虫を採集し、みかん枝葉を与えて飼育した個体) ◎区制:1区1カップ1頭5反復 ◎処理日:7月1日 ◎処理方法:エクシレル[®]SE 5000倍、対照A剤 2000倍、対照B剤 1000倍(各薬剤スキャッシュ2000倍加用)の希釈液にみかん葉片2葉を10秒間浸漬し、風乾。処理葉片および試供虫を試験容器に収める。◎調査方法:処理1、4、6、7日後、虫体の反応を正常、異常、苦悶、死亡に分けカウントした。処理6日後、供試葉片の食害面積より食害率を算出 ◎考察:食害作用によるゴマダラカミキリ成虫への効果はエクシレル[®]SE、対照剤ともに高かった。また、エクシレル[®]SEの効果発現はいずれの対照剤より早く、食害を低く抑えた。エクシレル[®]SEの食害作用による効果は対照剤と同等あるいはそれ以上と考えられた。

長期間、産卵数を抑制

●ゴマダラカミキリに対する産卵抑制効果

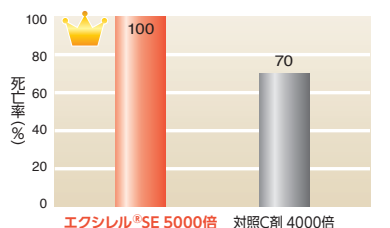


産卵減少により、次世代幼虫が樹を枯らすことを軽減、次年度以降の害虫密度を低減します。毎年の使用が有効です。

【試験概要】◎品種:興津早生 ◎区制:1区1樹 ◎処理日:9日前区6月1日、19日前区5月22日 ◎処理方法:エクシレル[®]SE 5000倍を10分量散布 ◎調査日:6月27日、7月1日、7月4日、7月9日、7月14日 ◎調査方法:各区に10頭ずつ2~3日前に交尾させた雌成虫を放虫する。5日毎に樹のエクシレル[®]SE処理する枝と無処理の枝を入れ替え、枝に産卵された卵数を計測する。最終調査日の7月14日に5回の産卵数を合計した。

耐雨性が高い

●かんきつ/ゴマダラカミキリに対する効果



散布翌日に降雨処理を行い、対照剤に優る効果を示した。

2018年 愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター 【試験概要】◎品種:南柑20号 ◎区制:1区1樹 ◎処理日:6月12日 ◎処理方法:所定濃度の背負式動力噴霧器で散布 ◎降雨処理:処理翌日、放虫当日に人工降雨装置を使い25mm/hを50mmになるよう降らせた。◎調査方法:放虫7日後に供試虫の生存、死亡、苦悶別に計数

環境、天敵、ミツバチに安全性が高い

●哺乳類、鳥類、魚類に高い安全性を示します。(普通物相当)

ラット経口	>	5000mg/kg (LD50)
ラット経皮	>	5000mg/kg (LD50)
ウズラ	>	5000mg/kg (LD50)
コイ	>	16mg/l (LC50)

*上記はシアントラニプロール原体の情報です。普通物とは毒劇物に該当しないものを指している通称です。

ミツバチの蜂群に影響がないことを確認しています

●ミツバチ残毒1日影響試験(100倍液試験)

	3日後(6月11日)	7日後(6月15日)	14日後(6月22日)	21日後(6月29日)
女王の有無	有	有	有	有
異常行動の有無	無	無	無	無
働き蜂の攻撃性(随時)	無	無	無	無
幼虫・蛹調査(有蓋育房)	200<	1000<	1000<	2000<
卵数調査	500<	500<	500<	500<

2016年 株式会社アグリフロンティア研究所 【試験概要】◎品種:宮川早生 石地フリー ◎試験動物:セイヨウミツバチ(1巣箱に4枚群、約4,000頭) ◎試験規模:500鉢に植栽した温州ミカン(3~4年生)を7株設置 ◎処理日:6月8日 ◎処理方法:圧力式噴霧器を用いて、所定濃度の希釈液を葉葉が十分濡れるように、1樹当たり100mL散布 ◎試験動物の管理:供試ミツバチは、散布30日前に購入し露地に置き、試験前日に巣箱を設置、自由に訪樹できるようにした。◎調査方法:散布3、7、14、21日後のミツバチ群に対する影響を調査した。

天敵等への影響

コレマン アブラバチ	ミヤコ カブリダニ	チリ カブリダニ	スワルスキー カブリダニ	タイリクヒメハナ カメシ	オンシツ ツヤコバチ	サバク ツヤコバチ	クサカゲロウ類	ヨトウ タマゴバチ類
マ	成	残	卵	成	残	卵	成	残
○	○	○	○	○	○	○	○	○

注:卵:卵に、幼:幼虫に、成:成虫に、マ:マミーに、蛹:蛹に
残:その農薬が天敵に対して影響のなくなるまでの期間で単位は日数です。
天敵等に対する影響は
○:死亡率0~25%、○:25~50%、△:50~75%、×:75~100%(野外・半野外試験)、
○:死亡率0~30%、○:30~80%、△:80~99%、×:99~100%(室内試験)
●:葉の影響の程度及び残効期間はあくまでも目安であり、気象条件(温度、降雨、紫外線の程度及び換気条件等)により変化します。

混用事例(かんきつ、かんきつ苗木抜粋)

かんきつ										かんきつ苗木									
殺菌剤					殺虫剤					殺菌剤					殺虫剤				
ICボルドー66D	ジマンダイゼン(水)	パレード15(FL)	ベンレート(水)	アクタラ(SG)	コテツ(FL)	ダースパン40(乳)	トモノールS(乳)	マッチ(乳)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)	フルピカ(FL)
アリエッティ(水)	ジャストフィット(FL)	ファンタジスタ(WG)	ポリオキシAL(水)	アグリメック(乳)	コルト(WG)	ダニエモン(FL)	トランスフォーム(FL)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)	モスピランSL(液)
イオウ(FL)	スイッチ(WG)	フジドーL(FL)	ポリベリン(水)	アドマイヤー(FL)	コロマイト(水)	ダニオーテ(FL)	トレボン(乳)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)	モスピラン(液)
エムダイファア(水)	ストロビー(DF)	フルーツセイバー(FL)	マネージ(DF)	アドマイヤー(WG)	サンマイト(水)	ダニコング(FL)	ニツラン(水)	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤	植物成長調整剤
オーシャイン(水)	テーク(水)	フロンスайдSC(FL)	ムッシュボルドー(DF)	アブロード(水)	スターマイト(FL)	ダニカット(乳)	ハーベストオイル	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)	セルバイン(液)
カスミンボルドー	デラン(FL)	ペフキノン(水)	モレスタン(水)	アブロードエース(FL)	スターマイトプラス(FL)	ダニゲッター(FL)	ハチハチ(FL)	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料	葉面散布肥料
キンゼット(水)	トップジンM(水)	ペフラン25(液)	ライメイ(FL)	エルサン(乳)	スピノエース(FL)	ダニサラバ(FL)	パロック(FL)	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン	カルチン
クプロシールド(FL)	ナリア(WG)	ペルコート(FL)	レーバス(FL)	オリオン40(水)	スプラサイド(乳)	ダブルフェース(FL)	ピラニカ(水)												
ゲッター(水)	バスワード(WG)	ペルコート(水)	ロブラール(水)	カネマイト(FL)	スプラサイド(水)	ダントツ(液)	ベストガード(液)												
コサイド3000(水)	バリダシン5(液)	ペンコゼブ(水)		キラップJ(水)	ダースパン(DF)	テルスター(水)	マイトコーネ(FL)												

(乳):乳剤 (水):水和剤 (液):液剤 (溶):水溶剤 (DF):ドライフロアブル剤 (FL):フロアブル剤 (SG):顆粒水溶剤 (WG):顆粒水和剤
本表は実施した試験をもとに作成しておりますが、品種、栽培条件、使用濃度、使用時期などにより結果が異なる場合があります。したがって「被害がない」ということを保証するものではありません。
あくまでも混用知見の一例として考えていただきますようお願いいたします。

適当害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アゲハ類、ケムシ類、ハマキムシ類、アザミウマ類 ミカンハモグリガ、ミカンキジラミ、ヨモギエダシャク ケシキスイ類、ゴマダラカミキリ成虫、チャノミドリヒメヨコバイ コアオハナムグリ、ハスモンヨトウ、カネタタキ、ミカンナガタムシ	5000倍	200~700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ、アゲハ類、ゴマダラカミキリ成虫 アブラムシ類	100倍	30~500mL/樹 (但し、130L/10aまで)	育苗期			

その他の適用作物:りんご、もも、ネクタリン、なし、おうとう、ぶどう、ブルーベリー、小粒核果類(すももを除く)、すもも、いちじく、マンゴー、茶

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
●容器は園場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

©2023 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社、関連会社の登録商標です。

EXI-SHG3A



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30土日祝日除く)

製品情報は
こちらから➡

